



新田勝見議長から本田敏秋市長に要望書が手渡された

市民の声を市政へ 市へ要望書を提出

平成25年11月19日から21日までの3日間、市内9会場で市民と議会との『秋の懇談会』を開催し、市民の皆様からたくさんの方からご意見やご提言を頂きました。それらをまとめ、要望書として、3月14日に市長に提出しました。

要望事項

1. 清養園クリーンセンターの入浴施設の継続について

平成27年10月から(仮称)岩手中部広域クリーンセンター稼働が予定されており、それに伴い清養園クリーンセンターのごみ焼却施設は、その役目を終えることが見込まれる。

この施設の熱源は、保養センターの入浴施設にも利用されており、市内外からの利用者も多い。また、東日本大震災の際には、沿岸被災者等への入浴の提供として大きな役割を担った経緯もあったことから、ごみ焼却施設

2. 公共施設のバリアフリー化について

高齢者や障がい者等の社会的弱者が自立した社会生活を営めるよう、公共施設のバリアフリー化を積極的に取り組んでいただきたい。

特にも、水光園の障害者用トイレへの通路が傾斜しており、利用者から「危険である」との声があり、早急な対応を求める。

3. 八幡市営住宅の住環境の改善について

老朽化が進む市営住宅については、入居者を福祉住宅に移転入居させ、解体撤去を行うなど、市でも重要な課題と認識し取り組みられているが、地理的条件にも恵まれた同地区の有効活用に向け、より積極的な取り組みを求める。

4. 公園の整備について

遠野市わらすっこ条

5. 附馬牛診療所の存続について

当診療所は、利用者の減少もあり、附馬牛町民は診療所が廃止されるのではないかと不安を抱いている。地域住民にとって唯一の身近な医療施設である附馬牛診療所の存続を求める。

今後、高齢者世帯が増加し、車で送迎してくれる家族がない世帯の増加も想定されることから、高齢者の通院のための交通手段の確保についても、併せて要望する。

賛否の公表

議案名	
議案第14号	消費税及び地方消費税の税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
議案第22号	市道路線の廃止について
発議案第1号	遠野市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について
請願第1号	岩手県の医療費助成制度について現物給付の導入を求める請願【不採択】

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
議員氏名	萩野 幸弘	瀧本 孝一	多田 勉	菊池由紀夫	佐々木大三郎	菊池巳喜男	照井 文雄	荒川 栄悦	菊池 充	瀧澤 征幸	小松 大成	織笠 孝之	菊池 邦夫	菊池 民彌	佐々木 讓	多田 誠一	安部 重幸	石橋 達八	浅沼 幸雄
議案第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
発議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○
請願第1号	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	×

※議長は採決に加わりません。○は賛成、×は反対 ※全員賛成、または全員反対以外は、賛否の内訳を表記します。

採決で賛否が分かれた案件の審議内容です。賛成及び反対の立場から討論がありましたので、その要旨を掲載します。議案第14号、第22号、発議案第1号及び請願第1号以外の案件は全会一致で可決されています。

議案第14号 反対討論

この条例改正は、4月実施の消費税8%への増税に伴う各種手数料、利用料の値上げ案件である。低所得者や中小企業ほど所得に占める税負担率が高い消費税の増税は、経済を減速化させ、格差社会を助長する。従って、この条例案にも当然賛同しかねる。

小松 大成 議員

賛成討論

この議案は、いわゆる消費税法の改正を受けて地方自治体としての使用料及び手数料の改定等をやむを得ず実施しようとするものである。消費税法改正そのものの反対は、この議案においては全く主旨が合致するものではなく、法を無視した反対としか言いようがない。従って、このような反対は到底理解できないものではない。

瀧澤 征幸 議員

議案第1号 賛成討論

議員定数の検討は議会基本条例にのっとりなされた。定数減によって多様な意見が出てくることへの考えもあるが、個々の議員や議会の質を高め、緊急感を持って議論をすることが大事であると思うことから、議会改革を止める訳にはいかない。

荒川 栄悦 議員

請願第1号 反対討論

医療費の現物給付

賛成討論

医療費の現物給付は、全国38都府県で導入され、東北では岩手県以外の全ての県で導入されている。患者にとっては負担上限額の医療費負担だけとなり、安心して受診でき、住民の健康増進及び早期発見・早期治療が図られる。当市の緊急的優先課題である「子育てするなら遠野」の施策推進に重要な役割を果たす制度であると考えられる。

菊池 充 議員

反対討論

は、安易な受診の助長につながる、更には国からのペナルティーがある。市町村の関係業務処理システムの変更経費がかかるなど課題もある。従って、医療費制度の改善に向け、ある程度県内自治体間の足並みを揃えつつ、実態やペナルティー等の検証作業や共通理解を深めてから判断すべきである。

瀧澤 征幸 議員